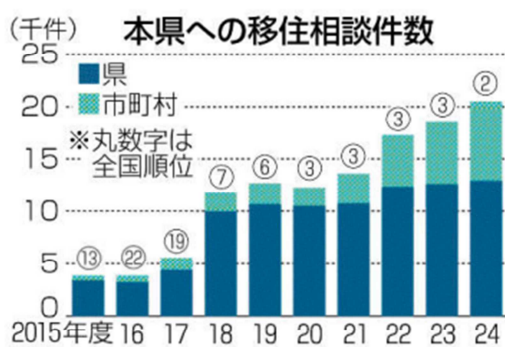


## 本県移住相談全国2位

昨年度2万505件 4年連続最多更新

県と県内市町村が昨年度に受け付けた移住相談件数は2万505件で前年度を1902件(10・2%)上回り、過去最多となった。最多更新は4年連続。都道府県別では全国2位で、前年度より順位を一つ上げた。県は新型コロナウイルス禍をきっかけに地方移住への関心が高まっている上、移住促進に取り組む市町村が増えたためと分析している。

総務省が14日、発表した。本県の相談件数と全国順位の推移は「グラフ」の通り。



本県の相談件数は前年度比2万5375件(6・2%)増の43万3810件で、4年連続過去最多を更新した。1位は長野県(2万5891件)、3位は宮崎県(1万9245件)だった。

県は人口減少対策の総合戦略で移住定住の促進を柱の一つと位置付けており「今後も市町村と連携しながら、情報発信やイベント開催に取り組んでいく(ふくしまぐらし推進課)としている。

▲11月15日 福島民友新聞掲載

本県への移住相談件数のグラフから読み取れることは何ですか。自分の言葉でまとめてみましょう。

「ふくしまぐらし推進課」がしていることはどんなことですか。

本県に移住者が増えることについて皆さんはどう思いますか。考えをまとめてみましょう。